

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 2 - 9

1 事務事業の表示

■ : 該当

事務事業名	自治基本条例策定事業							
評価者	担当課名		財務企画課		担当係名			
	管理職	職名	課長		作成者	職名		
		氏名	原 正美			氏名	澤田朋朗	
事業の概要	地方分権の進展により、国・道からの権限移譲の拡大、国の関与の縮減、財源の移譲、条例制定権の拡大など基礎自治体の裁量権の拡大が想定される中、基礎自治体には「自己決定・自己責任」の原則による自治の推進が求められることから、町民と行政・議会の役割を明確にした町民参加型行政を推進するための柱となる最高規範性を有する条例の策定に向け、調査・研究を進める					全体計画 (平成 21 年度 ~ 22 年度)		
						事業費	国・道支出金	千円
							地方債	千円
							その他	千円
							一般財源	千円
事業費計	千円							
実施方法	■ 直 営		民間委託		その他 ()			
第 5 期 総 合 計 画 (前期)			■ 登載事業		非登載事業			
事業の位置付け	政策目標	5	ささえあい・雄武 ~ 協働によるまちづくりの推進					
	基本施策	22	住民主体のまちづくりの推進					
	単位施策	3	住民との協働体制の構築					
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務				
	その他計画・根拠等							
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)		
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円		
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円		
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	千円	千円	千円	千円		
	合 計	千円	千円	千円	千円	千円		

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	町民参加型行政の推進	調査・研究			
		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	条例策定により、「町民が主役」のまちづくりを実践するための仕組みが整備される		目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	自分のまちを自分たちで担う人が増加し、地域コミュニティの活性化が図られる		目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
調査・研究	先進事例調査				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	☐ 義務的なもの	町民と行政・議会の役割を明確にした町民参加型行政を推進するための柱となる最高規範性を有する条例の策定に向け、調査・研究することは、町総合計画に掲げられているほか、行政改革大綱でも求められており必要な事業である
	☐ 全部 ☐ 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

課題あり 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	事務レベルの調査・研究のみであり、その実施速度には課題がある
	☐ 達成 ☐ ほぼ達成 ☒ 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	調査・研究のみであり、経費をかけずに進めた
	☒ 事業費抑制 ☐ 人員削減 ☐ 時間短縮・作業軽減 ☐ その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	本町の最高規範条例の策定に向けての調査・研究であり、一部に偏るものではないため公平である
	☐ 受益者負担がある ☐ 受益者負担がない ☐ 受益が一部に偏る ☒ その他	

4 総合評価(A～D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
C	C	
今後の推進にあたって、ワーキングチーム等による調査・研究も含め検討していきたい	同左	

 今後の展開方向 (Action)   		
継続 / 現状維持	継続 / 現状維持	
第5次行政改革大綱の推進項目でもあることから、年次計画に基づき執り進める	同左	

* 展開方向の区分

- 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--